

神子区公民館だより

第48号

令和5年4月

発行責任者

高下清人

☎59-2533

まちづくり座談会を開催

11月26日(土)「みんなで紡ぐ、希望あふれるまちづくり座談会」を行いました。役場から上野町長、高田副町長、原園教育長始め、4課長、3係長が出席。区からは、公民会長、監事、正副館長と区民の方々の計20名の出席。館長あいさつの後は、町長からは、新型コロナウイルス対策、令和3年に発生した豪雨災害の復旧進捗状況、出水の鳥インフルエンザ発生・町への侵入防止対策、マイナンバーカード等多岐に渡って行政報告を含むあいさつがありました。意見交換では、事前に提出した2つのテーマについて意見交換しました。

【役場からの回答】
①高齢者対策(病院、お店が遠い(買い物弱者)、経済弱者対策(援助見直し))
他の区では、お助け隊などを組織して、ゴミ出し、買い物支援等(共に有料)の紹介あり。また、生活支援体制作りの構築が必要との考えあり。

②過疎化に伴う地域活動支援(地域清掃・人員不足)。

【役場からの回答】
公民会でやってもらいたい。危険性の高い箇所等の作業には、機械(バックホウ)等の貸出し補助等がある。

町への質問・要望についての2項目は文書で回答有。

①地域づくり活性化計画に掲載した道路整備は、いつごろ工事をやるのか知らせてほしい。

【回答文面】
6路線の道路整備の内4路線については、令和元年度から5年度にかけて実施中である。他の2路線については未定である。なお、他に要望があれば、要望書を出してもらえば対応する。

②公民会への未加入者対策について

【回答文面】
他の3区からも出されている。加入率は町全体で75.7%、神子区は72.2%である。本件は、町・県内はもとより、全国的な課題となっている。町では転入手続きの際チラシを配布して入会を呼びかけているが強制できないので苦慮している。町だけでは限界あり。町と公民会で連携して取り組む必要あり。区公民館長連絡協議会などでの意見交換を踏まえ対応策を検討していく。

以上集約しましたが、他にも意見が出され協議しました。この座談会は意義のあるものと思います。各区の活性化は、町の活性化に繋がると思っていますので、区と町で課題対策を水平展開しながら協力体制を強くしていく必要性を感じます。

〈館長〉

稲留神社

しめ縄づくり

12月25日(日)雨で延期していた「しめ縄作り」を行いました。新型コロナウイルスのない新年を迎えようと、紫尾山が雪化粧をまとった寒い朝8時、稲留神社に集合。公民会長8名と正副館長で、焚火に指先をこすり温めながら3本のしめ縄を編み終えました。早速、社殿奥・社殿入口・鳥居に結び、区民の皆様を迎える歳旦祭の準備が整いました。しめ縄編みの前に行っている3か所の清掃は曇まじりの雨のため延期とし、後日実施しました。

〈館長〉



伝統文化を区で継承

櫃ヶ迫公民会が永年継承してきた『浅山棒踊り』は、高齢化と入会者がいない中、このままでは当公民会だけで継承を続けるのは難しい現状にあります。第6回役員会で櫃ヶ迫公民会から現状の説明と区で引き継いでもらいたい旨の申し出がありました。協議した結果、役員一致で区が引き継ぐことを決議しました。引き継ぐにあたっては櫃ヶ迫公民会が全面的な協力をする事等を記した「覚書」を交わすことにしました。引継ぎは令和5年4月1日とします。これからは9公民会の協力をお願いすることになります。今後は定期的な練習と、これまで同様、鶴田小の児童を指導して運動会で披露するなどこれまで培ったものも引き継いでいきます。神子区唯一の伝統芸能を守るべく、区民の皆様のご協力をよろしく願います。

〈館長〉

区忘年会を開催

12月18日(日)久しぶりに区の忘年会を開催しました。コロナ禍ではありましたが、換気を繰り返し、また、密集・密着を避けながら25名の参加者で1年間を「ねぎらい」ました。館長あいさつに続き、上野町長から、町政についてのお話や、コロナに負けない「気持ち」を持ちながら前へ進みましょうとの励ましのあいさつをいただきました。また、有川町議にも神子区ガンバレ!との励ましをいただきました。区の現状、課題、解決策等を語りながらひと時を楽しみました。今回は、コロナの関係等で参加できない来賓も多く、また、役員の欠席者もありこれまでよりちよつと小規模な忘年会になりました。それでも久しぶりとあつて車座や、女子会!のにぎやかな語りいで盛り上がっていました。コロナを考慮し約2時間での音頭となりました。今日の料理は熱々の鍋でした。料理は正副館長婦人が支度してくれました。また、谷山前館長代理から自前の大根の漬物、下大迫和美さん(代理婦人)からも一品料理と漬物の差し入れがあり、美味しくいただきました。終宴後の片付けは、女性部の方や有川町議も手伝ってくれて、早めに終わりました。お手伝いの皆さんありがとうございました。この先早くコロナが収束し、皆さんのマスキングの笑い声が聞こえる日を楽しみにしています。

追伸・鶴田小学校様、鶴田郵便局様に濃厚志をいただきました。

〈館長〉

福祉もちを届けました

12月26日(月)民生委員さんに、福祉もち(いこもち紅白2個)の袋詰めをしてもらい、その後各公民会長さんに配付をお願いし、各戸に声掛けをしながら届けてもらいました。今回の対象者は41名(75歳以上の方。ただし、家族と同居または家族が近くに住んでいる方は除く)。紅白のいこもちはいかがでしたか?ご意見を下さい。今年こそは、いこもちで体力を養い、この「力」で新型コロナウイルスを押しよくり、健康寿命を延ばし、楽しい日々を満喫して下さい。

〈館長〉



稲留神社歳旦祭

令和5年元旦(日)稲留神社の「歳旦祭」を執り行いました。前日の午後5時から電灯を灯し区民の皆様の手をお待ちしました。元旦は、庭で薪に火を入れ暖を取り、午前7時から役員13名が参加。宮司さんの祝詞(のりと)に姿勢を正し、区民の皆様と役員(家内安全・無病息災・五穀豊穡と新型コロナウイルスの早期終息)を祈願しました。今年も正月3日間で、96枚のお賽銭が納められました。単純に大勢の方々の参拝があったものと推察します。皆様の鎮守様である稲留神社が、いかに大切なものであるか改めて感じた思いでいます。稲留神社の守りを糧に、皆さんで神子区を一步先へ盛り上げていきましょう。

〈館長〉



消防出初祝賀会

1月8日(日)消防出初祝賀会を開催しました。町の出初式は、晴天・風なしの穏やかな日に、宮之城運動公園陸上競技場に322名の消防団員が集合。「丸尾消防団長に敬礼」に始まり放水演習等の後、永年勤続功労章等の表彰、来賓祝辞や各行事など約1時間で解散となりました。午後1時から区コミセンで神子分団の祝賀会を3年ぶりに開催。来賓や分団員も新型コロナウイルスの影響を受け、例年の半数に近い34名での祝賀会となりました。まず初めに、今年の功労賞等7名の内1名「平川貴大氏」の表彰式を行いました(6名は欠席)。丸尾団長、曾山方面隊長など消防団幹部や上野町長、白石県議、川口町議、有川町議のご臨席のもと、来賓あいさつに続き、曾山方面隊長の乾杯で宴が始まりました。消防団員の欠席(コロナ関係)が多く残念な思いの中、久方ぶりの祝賀会でもあり盛り上がりは上々。シムコさんから提供の豚のすき焼きに舌包み。調理・料理は、女性部会の5名と正副館長婦人が手ぎわよく作ってくれました。



写真上：出初式での整列 下：祝賀会の様子

【ご厚志】こうげショップ様、区民生委員様、丸尾様・曾山様、消防災害後援隊様、消防署員5名様、鶴田小学校様、あびる館様
ありがとうございます。 <館長>

あいさつこたま運動

今年度の『あいさつこたま運動』では、延べ162名の方々が各通学路上に立ち、鶴田小学校の児童たちが安全に通学できるよう見守り活動をしてもらいました。学校が新しくなり、場所も変わったことから、通学経路が大きく変わりました。昨年度までとは変わった通学経路で不安を抱えて家を出た児童、特に新一年生はこの見守りに安心したかと思えます。また、こたま運動期間以外にも立哨して下さっている方もいます。今、全国的に少子化が進む中、鶴田小学校区の児童たちを『守り育てる』ことを大切にしていかねければならないと思います。 <館長>



区有林調査

役員新年会

1月29日(日)午前8時。役員10名で区有林の小兎ヶ尾の間伐ヶ所の確認調査を行いました。最初に区有林担当の大庭慶男さんが図面を見ながら説明。さつそく山へ。そこには立派に育った木が適当な間隔に伐採されています。この山の木がいつごろ神子区の財産になるのかが楽しみになります。この後、午後5時から第6回役員会を実施。終了後、久々の新年会を開催し、神子区の現状とこれからの展望等を語りながら盃を傾けました。 <館長>

区高齢者クラブ マイナポイント講習会

2月10日(金)午後1時30分から区コミセンで、マイナポイント講習会を実施し10余名が参加しました。個人ではなかなか手続きが難しいため、「まあいいか」とあきらめていた方も多いと聞いています。それならと、下大迫会長の肝いりで役場から2名の職員がパソコンを抱えて来所。マイナポイントの説明に続き1人ずつ手続きしてもらいました。貯まったポイントが残すことなく使いまししょう。 <館長>



役員研修会

2月13日(月)午前9時区コミセン下駐車場を町のバスでスタート。揺られること約1時間30分。県議会庁舎前に到着。一同議会庁舎内へ。事前に予約をとってあったため、説明担当の方がお出迎え。さつそく5階の議場へ案内され、その広さにびっくり。説明を受けながら、議員席・議長席の椅子の座りごこちを確認。『これなら長時間にも耐えられそう』6階の議会傍聴席や委員会室等も見学。まさに聞いて見て学ぶことができました。



集合写真を・・・とその時、本町選出の白石議員が登場、20日から始まる議会の準備の忙しいなか、一緒にパチリ・いい写真が撮れました。昼時に案内されたのが円卓会議室。そこには豪華弁当(600円自費)がずらり。『思わずごっくん』ゆっくりとした時間で見学の疲れがとれたころ、御楼門の見学へ。5億円の費用がかかったとの事。けや木一色の柱・梁の大きさに敬服！これが鹿兒島の「門」かと感じつつ時代背景に「西郷隆盛 兄」の影がちらり。最後に南洲墓地を皆で参拝して帰路につきました。

【研修趣旨】本研修を通して社会情勢等を再認識し、この研修を神子区公民館活動に活かし、神子区の発展に寄与するものである。 <館長>



第2回福祉部会

2月18日(土)午後6時から区コミセンで、福祉部会を開催しました。第1回福祉部会で課題としました「地域支え合いマップ図」を8公民会で作成しました。社会福祉協議会、包括支援センターから6名の講師を招き、指導を受けながら1時間程でほぼ完成することができました。各家庭、地域の状況は日々変化していきます。状況に応じたマップ図にするためには、1年に1回程度は検証していく必要があると思います。 <館長>

地域づくり活性化 計画の検証

3月4日(土)31名が午後6時に区コミセンに集合。令和2年度に5ヶ年計画を策定し、2年目となる今年度「神子地区地域づくり活性化計画」の検証を行いました。それぞれの分野に分かれて達成状況などを確認しました。検証にあたっては、各分野に役場職員が数名配置され約1時間でまとめました。この結果を整理し、これを基に更に検証を続け、5ヶ年計画を総括。次の5箇年計画につなげる大事な会議でした。 <館長>



新年度にあたって(館長)

令和5年度は、新型コロナウイルスの先行きが見えてきそうです!? マスクも、場所・状況によっては着用なし(個人の判断)と政府が希望をもたせました。今年度の行事予定は昨年度とほぼ同様としました。これまでは一部中止を余儀なくされてきましたが、今年度こそは皆さんと一緒に楽しみめそうです。神子区でも高齢化と少子化、会員減少が進んでいます。これからはこの現状を見据えた事業計画の作成が重要だと考えています。会員減少(5年間で33戸減少)に伴う会費減少等で、各部会等への助成金や行事内容、その他全般に渡っての見直し等を迫られています。今、与えられた条件でいかに内容の濃い事業を創出するか、役員一同知恵を出し合いながら頑張ります。そして区民の皆さまからのご意見やご知恵もいただき、区民一丸となって神子区を盛り上げて行きたいと考えております。『オール神子で 新たな挑戦』といきましょう。